

## 第7期 事業報告書

平成14年4月1日～平成15年3月31日

# GignoSystem Japan

ジグノシステムジャパン株式会社

## トップインタビュー

株主の皆様には、平素より  
格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社第7期の事業報告書を取り纏めましたので  
ここにご報告申し上げます。  
ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

——代表取締役社長 飯田桂子

### Q① 当期(2003年3月期)の業績について お聞かせください。

おかげさまで当期も増収増益を達成することができました。主な業績を申し上げますと、売上高は5,505,758千円(前期比39%増)、経常利益は1,233,210千円(前期比56%増)、当期利益は815,172千円(前期比80%増)となりました。

これは既存事業である携帯電話向けサービスが順調であったことが主な要因です。

また、当期は、より高速な通信が可能となるFOMAやCDMA2000 1xなど、「次世代」と呼ばれる携帯電話向けサービスを強化するとともに、海外への事業拡大も積極的に推進いたしました。



### Q② 順調であるという既存事業について、 具体的にご説明ください。

当社が運営している携帯電話向けの有料コンテンツは、現在も、数多くのユーザーの皆様から支持されており、各カテゴリーにおいて人気上位をキープし続けております。

また、携帯端末や通信インフラの進化とともに登場した動画や各種アプリなどの“リッチコンテンツ”についても、当社はいち早く対応し、シェア拡大に向けた積極的な開発・運営に取り組んでおります。

### Q③ ますます増えているカメラ付き携帯電話には、 どのように対応されましたか？

カメラ付き携帯電話に関しましては、携帯電話で撮影した写真を加工して3Dのキャラクターを作成できる「フォトきゃら工房」や、コンビニエンスストアと連携したプリントサービス「わくわくiプリント」など、これまでにない新しいアプリケーションシステムを開発し、サービスを開始しております。

先ほどのリッチコンテンツ同様、こうした成果には、当社が培ってきた“ビジュアルコミュニケーション”のノウハウが最大限に活かされています。今後カメラ付き携帯電話や次世代携帯電話が普及していくなかで、より高品質なビジュアルが求められることは間違いなく、当社にとってはますます“強み”を発揮しやすい環境になっていくものと考えます。

### Q④ 法人向けのシステム開発も 手掛けているそうですが？

はい。当社が有する技術力やノウハウを活かして、企業様向けに販売促進活動などのWeb活用を企画・開発から保守、運用までトータル

Interview

に提供する「システムソリューション事業」を展開しています。

当期は㈱ソニー・コンピュータエンタテインメント様やカシオ計算機様向けにサイトの企画開発などを行いました。今後もトータルなサービスノウハウをもつ当社のビジネスチャンスはますます広がっていくと考えております。

### Q⑤ 海外での事業展開も急速に進んでいるようですね。

2002年3月に開始されたドイツをはじめ、オランダ、ベルギー、フランスなどの欧州各国、香港、台湾などのアジア地域、海外6ヶ国でインターネット対応型携帯電話向けの有料サイトのサービスを開始しております。さらに2003年5月からはアメリカのモバイル市場への進出も果たしており、今後は米国、アジア、欧州の3地域を軸に、それぞれの地域の特性、市場規模に合ったサービスを提供できるグローバルな事業展開を推進していきたいと考えております。

### Q⑥ 最後に、株主の方々に対して、メッセージをお願いします。

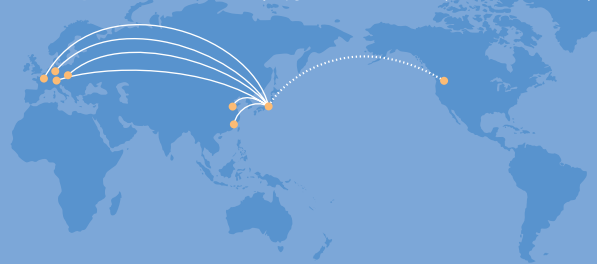
当社は、設立以来、一貫してビジュアルコミュニケーションに関する事業を展開してきました。前期におきましては株式の上場を果たし、当期も長引く不況下にもかかわらず、増収増益を達成することができました。

しかし、当社の事業展開は、これからが本番だと考えています。ブロードバンド社会の進展に伴って、ビジュアルコミュニケーションという強みが活かせる環境が広がっていくからです。また、携帯電話以外のデジタル情報端末も普及していくことから、今後もあらゆる端末に対応できるコミュニケーションサービスを追求してまいります。

### 「海外6カ国において携帯電話向けコンテンツ配信を開始」

#### サービスエリア (キャリア)

- ヨーロッパ ドイツ (Eプラス) オランダ (KPNモバイル)  
ベルギー (BASE) フランス (ブイグテレコム)
- アジア 台湾 (KGテレコム)  
香港 (CSL、Orange、SmarTone)
- 米国 2003年5月サービススタート (AT&Tワイヤレス)



### 「既存の公式サイトが人気上位をキープ」

#### 主な人気サイト (iモード)

- 待受画面メロディ  
(着信メロディ/カラオケ・オリジナルメロディ部門1位)
- 待受アートパラダイス  
(待受画面/iアプリ待受/フレーム・アート部門1位)
- プロレス/格闘技DX  
(スポーツ/格闘技・大相撲部門1位)
- 待受画面コレクション  
(待受画面/iアプリ待受/フレーム・グラフィック部門1位)
- コイヌ・コネコ・ハムスター  
(待受画面/iアプリ待受/フレーム・どうぶつ部門1位)
- 厳選素材フォト  
(待受画面/iアプリ待受/フレーム・フォト部門3位)

※2003年3月末現在

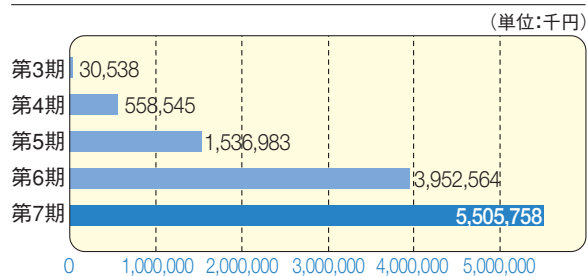
with the President

## 財務ハイライト

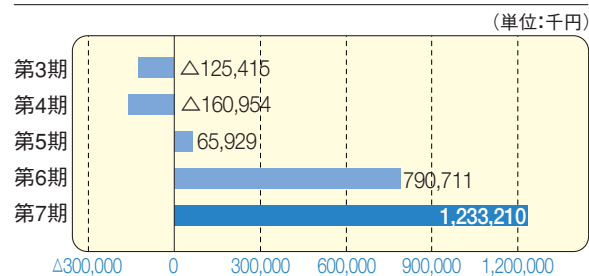
(単位:千円)

科目	期別	第3期 平成11年3月期	第4期 平成12年3月期	第5期 平成13年3月期	第6期 平成14年3月期	第7期 平成15年3月期
売上高		30,538	558,545	1,536,983	3,952,564	<b>5,505,758</b>
経常利益		△125,415	△160,954	65,929	790,711	<b>1,233,210</b>
当期利益		△130,396	△31,814	59,802	453,035	<b>815,172</b>
1株当たり当期利益(円)		△19,253.58	△3,316.16	6,102.27	9,381.48	<b>11,935.52</b>
総資産		549,260	935,462	1,113,253	3,158,895	<b>4,582,618</b>
純資産		522,435	770,621	830,423	2,325,500	<b>3,115,513</b>

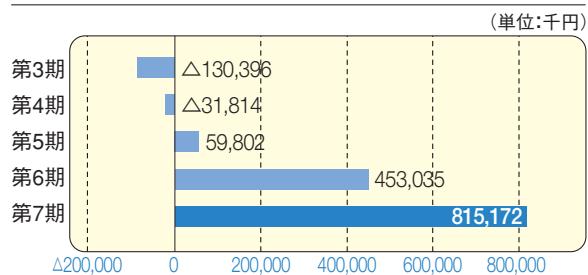
## 売上高



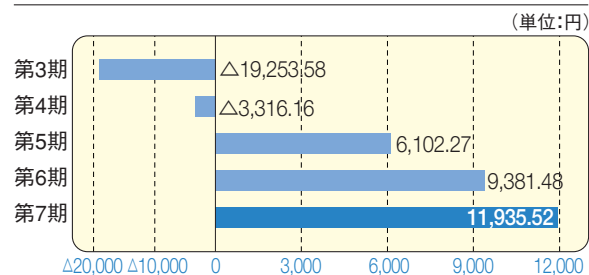
## 経常利益



## 当期利益



## 1株当たり当期利益



## 貸借対照表

(単位:千円)

期別 科目	第6期 平成14年3月期	第7期 平成15年3月期
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	2,967,752	4,124,993
現金及び預金	2,205,986	2,431,547
売掛金	697,669	1,582,423
仕掛品	—	4,827
その他	83,283	143,693
貸倒引当金	△19,187	△37,498
<b>固定資産</b>	191,142	457,624
<b>有形固定資産</b>	123,787	126,387
器具及び備品	115,286	107,472
その他	8,500	18,914
<b>無形固定資産</b>	26,436	32,935
<b>投資等</b>	40,919	298,301
投資有価証券	10,000	245,800
その他	30,919	52,501
<b>資産合計</b>	3,158,895	4,582,618

期別 科目	第6期 平成14年3月期	第7期 平成15年3月期
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	833,394	1,467,104
買掛金	412,001	820,125
未払金	89,466	159,971
未払法人税等	246,464	392,549
その他	85,462	94,458
<b>負債合計</b>	833,394	1,467,104
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	1,072,441	1,092,889
<b>資本剰余金</b>	999,600	1,020,048
資本準備金	999,600	720,048
その他資本剰余金	—	300,000
<b>利益剰余金</b>	253,459	983,831
当期末処分利益	253,459	983,831
(うち当期利益)	(453,035)	(815,172)
<b>株式等評価差額金</b>	—	18,744
<b>資本合計</b>	2,325,500	3,115,513
<b>負債・資本合計</b>	3,158,895	4,582,618

## 損益計算書／キャッシュ・フロー計算書

## 損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	
	第6期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	第7期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
<b>経常損益の部</b>		
<b>営業損益の部</b>		
営業収益	3,952,564	5,505,758
売上高	3,952,564	5,505,758
営業費用	3,080,788	4,272,449
売上原価	2,321,152	3,248,804
販売費及び一般管理費	759,635	1,023,644
営業利益	871,776	1,233,309
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益	241	468
受取利息	241	310
その他	—	158
営業外費用	81,306	567
新株発行費	26,091	567
その他	55,215	—
経常利益	790,711	1,233,210
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	322	269,119
その他	322	269,119
特別損失	2,686	10,909
固定資産除却損	2,686	909
投資有価証券評価損	—	9,999
税引前当期利益	788,347	1,491,420
法人税等税金	246,568	691,070
法人税等調整額	88,743	△14,822
当期利益	453,035	815,172
前期繰越利益	△199,576	168,659
当期末処分利益	253,459	983,831

※ インフォメーションプロバイダー事業における売上高並びにこれに対応する仕入高、販売費及び一般管理費(債権回収手数料等)の計上は従来、移動体通信事業者からの月間情報通知書の到来をもって行っておりましたが、当期から利用者に情報を提供したときをもって売上高を計上する方法に変更いたしました。

なお変更後の会計処理方法を適用した場合に、前期の売上高及び仕入高等として計上されるべき金額は、収益と費用を相殺後の金額をもって特別利益に計上しております。

## 特別利益の内訳

売上高	746,760千円
仕入高	△388,487千円
販売費及び一般管理費(債権回収手数料等)	△89,153千円
差引 特別利益	269,119千円

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	期別	
	第6期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	第7期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
営業収入	3,593,037	5,252,935
商品及びコンテンツ仕入による支出	△1,831,862	△2,907,955
人件費支出	△229,250	△366,896
債権回収手数料支払	△326,854	△501,732
その他営業支出	△369,392	△335,481
小計	835,677	1,140,870
利息及び配当金受取額	241	310
法人税等支払額	△954	△544,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	834,964	596,194
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△214,300
有形固定資産の取得による支出	△34,225	△56,873
ソフトウェアの取得による支出	—	△26,360
営業権の取得による支出	—	△20,000
その他投資活動による支出	△13,050	△29,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,276	△346,717
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	1,019,346	40,329
配当金の支払	—	△64,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,019,346	△23,937
<b>IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	21
<b>V. 現金及び現金同等物の増加額</b>	1,807,035	225,561
<b>VI. 現金及び現金同等物期首残高</b>	398,951	2,205,986
<b>VII. 現金及び現金同等物期末残高</b>	2,205,986	2,431,547

## 利益処分

利益処分 (単位:千円)

科目	期別	第7期
<b>区分</b>		
(当期末処分利益の処分)		
当期末処分利益		983,831
<b>利益処分額</b>		
利益配当金		99,751
役員賞与金		25,000
(うち監査役賞与金)		(1,000)
次期繰越利益		859,079
(その他資本剰余金の処分)		
その他資本剰余金		300,000
その他資本剰余金次期繰越額		300,000

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 支配株主に対する金銭債権及び金銭債務  
短期金銭債権 6千円
- 有形固定資産の減価償却累計額 137,723千円
- 重要なリース資産  
貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、サーバー用コンピュータ及びその周辺機器があります。

4. 新株予約権

① 旧商法第280条/19第1項の規定による新株引受権

決議日	発行する株式	期末残高	発行価額
平成11年4月15日臨時株主総会決議	普通株式	11,026千円	58,341円
平成12年1月28日臨時株主総会決議	普通株式	4,550千円	58,341円
平成13年6月29日定時株主総会決議	普通株式	100,251千円	70,008円

② 商法第280条/20及び第280条/21の規定による新株予約権

決議日	発行する株式	期末残高	発行価額
平成14年7月25日取締役会決議	普通株式	88,305千円	294,350円
平成14年10月22日取締役会決議	普通株式	68,020千円	190,000円
平成15年1月28日取締役会決議	普通株式	58,035千円	159,000円

5. 1株当たり当期利益 11,935円52銭

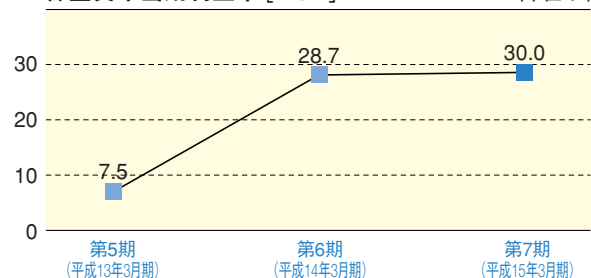
6. 商法第290条第1項第6号の規定により配当が制限される純資産額は、18,744千円であります。

(損益計算書関係)

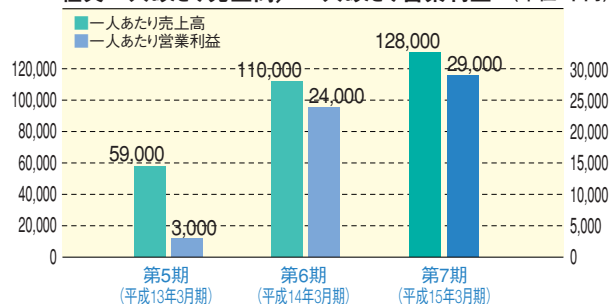
- 支配株主との取引高  
営業取引 売上高 6,843千円  
営業取引以外の取引 有価証券の取得 114,300千円

## 主な経営指標

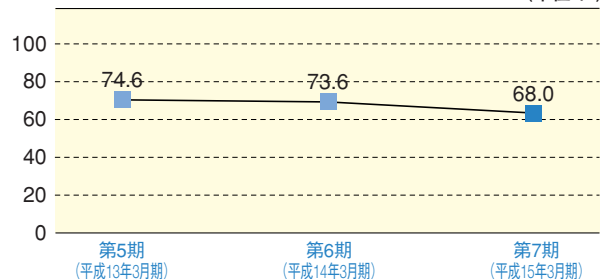
株主資本当期利益率 [ROE] (単位:%)



社員一人あたり売上高/一人あたり営業利益 (単位:千円)



自己資本比率 (単位:%)



## トピックス

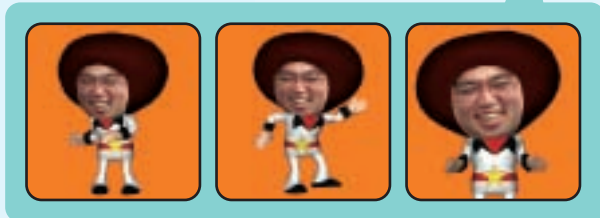
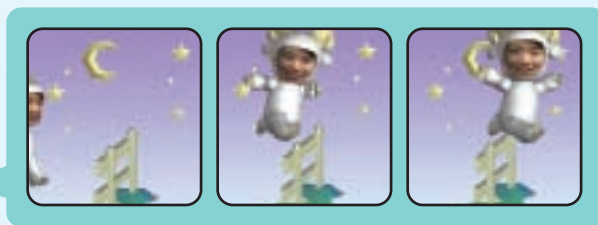
# 1 画像の「加工」「プリント」機能をキーワードに、 カメラ付き携帯電話向けサービスを拡充

人々のコミュニケーションの新しい可能性を拓くツールとして、当期において急速に普及しはじめたカメラ付き携帯電話。ジグノシステムは創業当時から培ってきたビジュアルコミュニケーションのノウハウ

を最大限に活かし、撮影写真の“加工”や“プリント”を可能にする新しいサービスを開発。カメラ付き携帯電話を“より楽しく”、“より便利”に活用する仕組みをご提案しています。

## 「フォトきゃら工房」 撮影した写真を自由に加工・合成して楽しいキャラクターに！ ビジュアルコミュニケーションの新しい可能性を提案。

2002年12月にカシオ計算機㈱から発売されたEZweb対応カメラ付き携帯電話「A5302CA」向けのサービスとして、撮影した写真を3D画像に加工・合成してオリジナルキャラクターを作る新しいサイト「フォトきゃら工房」を開発し、同社に提供しています。キャラクターは、ロボットやぬいぐるみ、タキシードなど様々なバリエーションがあり、作成したオリジナル3Dキャラクターは動く着信画像（着キャラ）にしたり、友達にグリーティングメールで送ったり、スクリーンセーバーに設定することが可能です。



### 当社が提供したノウハウ

端末側

- 撮影
- 端末のJavaアプリで、
  - 「顔」の領域を指定
  - 画像をアップロード

当社サーバー

- 受け取った画像の補完・管理
- 3Dデータ、テンプレート（キャラクター）との合成
- フレーム加工・アニメGIFの生成

アドレス帳に登録

3Dで友達に送る

アニメGIFで友達に送る

着キャラに設定

## 「わくわくiプリント」 楽しいフレームにお気に入りの写真を組み合わせて自由にデザイン。 リアル店舗と連動したプリントアウトサービスを開始。

カメラ付き携帯電話で撮影した写真画像をさまざまな種類の楽しいフレームと組み合わせてデザインし、全国のローソン店舗でプリントアウトできるという新しいサービスを開始しました。このサービスは、ジグノシステムが運営するiモード公式サイト「わくわくiフォト」において提供しています。

### サービスフロー

カメラ付き携帯電話で写真を撮影

サイトにアクセスして、  
お好みのフレームを選択

写真をサイトへメール送信、  
プリント注文

ローソン店舗にてお支払い、受取

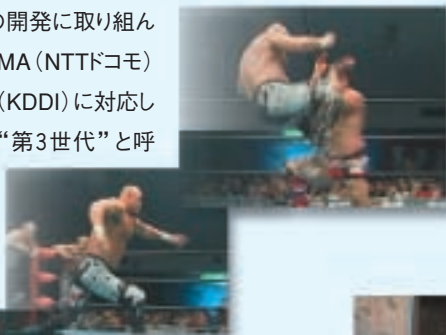


## 2 次世代携帯電話向けに動画・アプリなどのサービスを拡充

携帯電話端末の進化に伴う動画・アプリケーション等の“リッチコンテンツ化”に対応するために、動画やJavaアプリなどを用いた新しい技術・サービスの開発に取り組んでいます。すでにFOMA (NTTドコモ)をはじめ、着ムービー (KDDI) に対応しているほか、今後も“第3世代”と呼ばれる次世代携帯電話への対応を図ってまいります。



「プロレス/格闘技DX」  
©全日本プロレスリング



「ネコマンガ・イヌマンガ」  
©デスノバ



※「FOMA」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

## 株式分布状況 (平成15年3月31日現在)

### 株式の状況

会社が発行する株式の総数	263,200株
発行済株式の総数	66,501株

### 株主数

3,341名

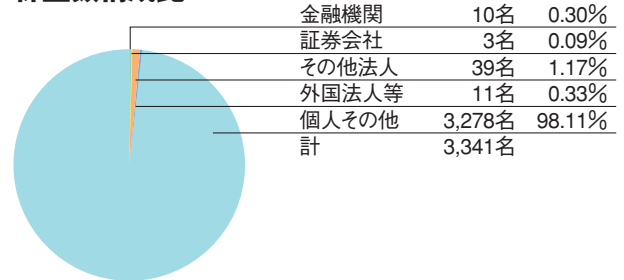
### 大株主

株主名	持株数	議決権比率
株式会社プラザクリエイト	40,150	60.37%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社信託口	2,145	3.22%
ソフトバンク株式会社	2,000	3.00%
ピー・イー・フォー・フィデリティ・キャピタル・パースナル・カンパニー・ファンド	1,868	2.80%
株式会社リコー	1,800	2.70%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	1,420	2.13%
バンクオブアイルランドノントリーティー	1,270	1.90%
UFJ信託銀行株式会社信託勘定A口	1,083	1.62%

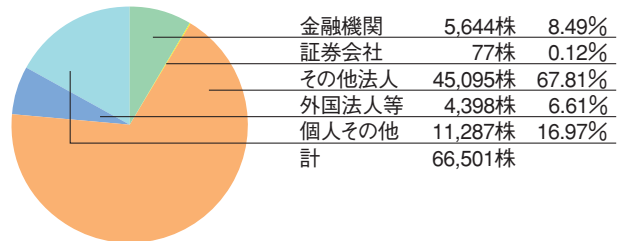
(注) 議決権比率は、小数点第3位以下を切り捨てております。

### 株式分布状況

#### 株主数構成比



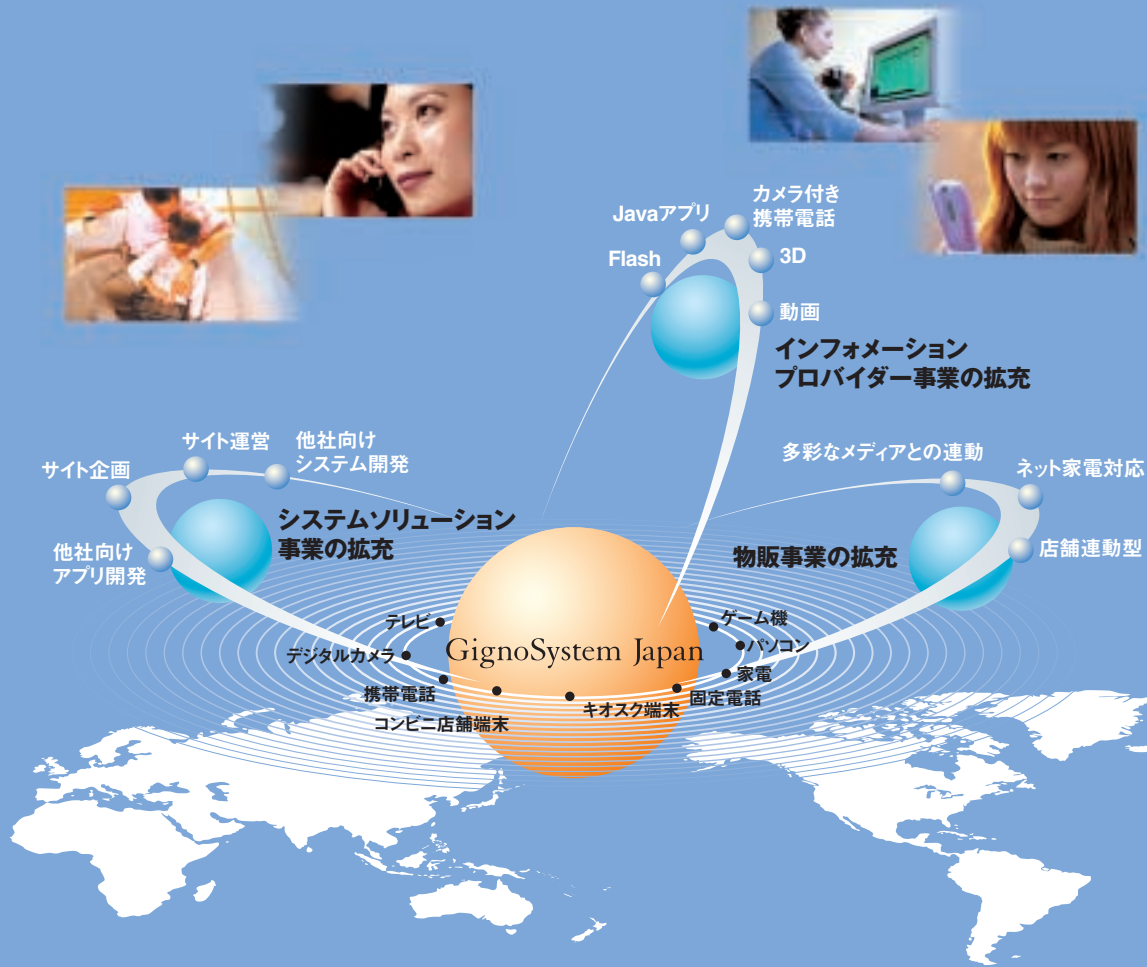
#### 株式数構成比



# ビジュアルコミュニケーションの 新たなる可能性を追求して——。

国境を越え、メディアを越え、世代を越えて拡大し続けていくネットワークの世界。

ジグノシステムジャパンは、インターネットの黎明期から培ってきた  
ビジュアルコミュニケーションへの高度な知見と豊富なビジネスノウハウ、多彩な技術を駆使して、  
これからも人々に鮮烈な驚きと感動をもたらす価値あるサービスを追求し続けます。



## 会社概要 (平成15年3月31日現在)

社名	ジグノシステムジャパン株式会社
本社	〒102-0085 東京都千代田区六番町3番地六番町SKビル6階
設立	平成8年12月
資本金	1,092,889,871円
主要業務	インフォメーションプロバイダー事業、 システムソリューション事業
従業員数	82名(役員、臨時雇用者含む)

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	飯田 桂子
取締役	阿部 泰芳
取締役	小原 淳子
取締役	吉浜 直人
取締役	大島 康広
常勤監査役	赤間 祐男
監査役	木田 正幸
監査役	小澤 宏之

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5391-1900(代表)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店

※当社は、決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ(<http://www.gignosystem.com/kessan>)に掲載しておりますので、ご案内申し上げます。